

かえる倶楽部タイムズ

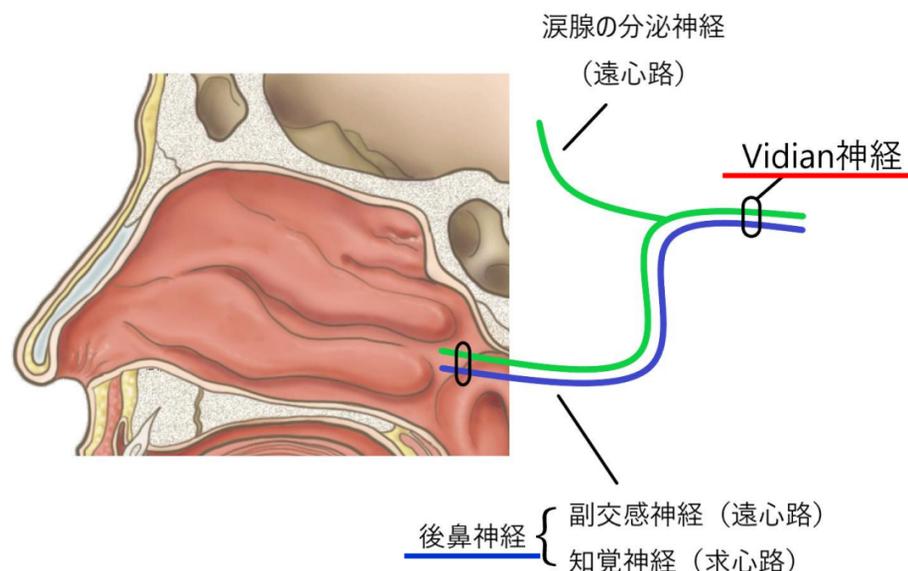
特集 「後鼻神経切断術」

くしゃみ、鼻水、鼻詰まりは、アレルギー性鼻炎の3大症状として広く知られています。この中で、くしゃみと鼻水は、神経伝達物質(ヒスタミン)を介した神経反射で、この反射をブロックする抗ヒスタミン薬が、基本的には有効です。

しかし、薬物療法で満足できる効果が得られない場合には、下鼻甲介に分布する副交感神経(反射の遠心路)と知覚神経(反射の求心路)を選択的に切断する後鼻神経切断術が試みられるようになりました。

従来行われてきた古典的な術式(Vidian神経切断術)は、上顎洞を経由して、より中枢で神経を処理していたために、涙腺に分布する副交感神経も切断されることで涙液分泌障害のリスクを伴いました。

その点、鼻内から行う後鼻神経切断術は、より選択的な術式で、**ごく小さな侵襲で効果の得られる方法**です。



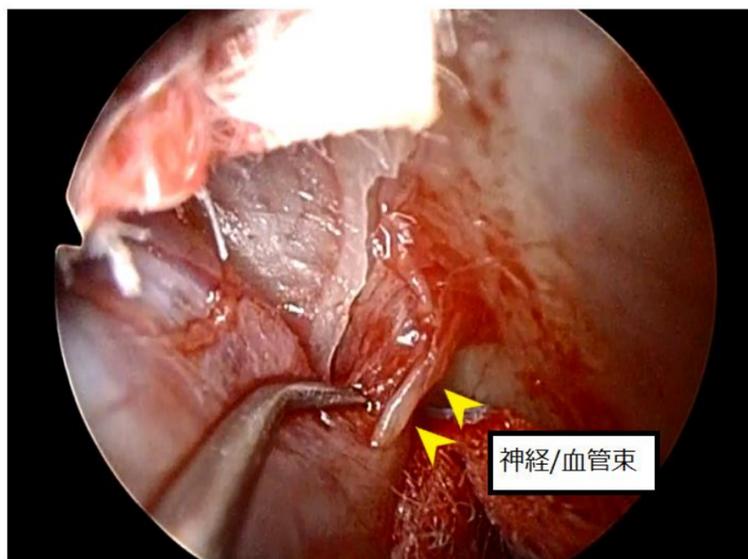
【手術方法】

後鼻神経へは、中鼻道あるいは粘膜下下鼻甲介骨切除術の術野からアプローチ可能です。

比較的容易に神経と血管の索状物が同定できるので、この索状物全体を、超音波凝固装置などを用いて切断します。

← 図) 左粘膜下下鼻甲介骨切除術の術野から、神経と血管の索状物を同定している。

(参考)2022年度 手術実績 66件



【治療効果】

後鼻神経切断術のくしゃみ、鼻水に対する改善率は8割以上とされています。また、同時に鼻中隔矯正術や粘膜下下鼻甲介骨切除術などの鼻閉改善術を併用することで、鼻閉も含めた改善が期待できます。

【入院期間】

手術前日に入院していただき、翌日に全身麻酔下に手術を施行します。退院まで、約1週間の入院となります。退院後も一週間程度は術後の出血に注意が必要です。

(参考)平均入院費用 111,230円(3割負担額:33,690円)

先生方からのご紹介を心よりお待ちしております。

【連絡先】 平日 8:30~17:00、土曜日 8:30~12:00
 地域医療連携室 (電話)06-7501-1406

以外の時間帯は、代表電話 06-6458-5821 へご連絡下さい。



関西電力病院
 耳鼻咽喉科

部長 藤田 明彦

京都大学 臨床教授

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
 専門医・指導医

日本耳科学会手術選定 指導医

日本耳科学会認定耳管ピン手術実施医

日本気管食道学会 専門医

補聴器相談認定医 ・ 身体障害者指定医

耳鼻咽喉科臨床学会 ・ 日本鼻科学会

